

## 琉球来航船一覽（一八四四～一八五五年）

ベッテルハイムの琉球滞在中およびその前後の西欧諸国からの来航船（異国船、夷船と記録されるものを含む）を記載した。

### 一八四四年

- 英サマラン号【艦長ベルチャー大佐】四三年二月一日～四四年一月一八日（八重山）、一月二〇日～二月四日（宮古）
- 異国船 四月九日（久米島） ●異国船 四月二〇日（多良間）
- 仏アルクメーヌ号【艦長デュプラン大佐】四月二八日 ▼フォルカード着
- 英船 八月一日（石垣） ●英船 二月二四日

### 一八四五年

- 英サマラン号【艦長ベルチャー大佐】六月六日～二日（与那国）、六月一九日～三日（那覇）、八月一八日～二日（那覇）
- 英ロイヤリスト号【艦長オーグル大尉】八月四日～八日（八重山）、八月二日～八月三日（那覇）

### 一八四六年

- 異国船 四月二日、三〇日（久米島） ●異国船 五月三日（久米島）、五月二日（古宇利島）
- 英〔商〕スターリング号【マックチェイン船長】四月三〇日 ▼ベッテルハイム着
- 仏サビーヌ号【艦長ゲラン】五月二日～七月五日 ▼ルテュルデュ着
- 仏クレオパトラ号【艦長セシル】六月六日～七月一七日
- 仏ヴィクトリユーズ号【艦長ギュヌイイ】六月六日～七月一七日、九月一六日～二九日 ▼アドネ着
- 仏〔商〕パシフィック号【セルヴァン船長】七月七日～二四日 座礁
- 英デューダラス号【艦長マッケイ大佐】一〇月二日～一七日 ▼ココラン提督来訪△
- 英リングダヴ号【艦長ホスト中佐】、英ヴェスタル号【艦長タルボット大佐】
- 異国船 二月二五日（久志汀間）、二月二八日（久米島）

一八四七年

- 西洋夷船 三月二十八日(宮古来間)
- 西洋夷船 四月一日、四月二十五日、五月一日、五月十九日(八重山)、五月二十二日(粟国) (久米島)

一八四八年

- 夷船 四月一三日(久米島)、四月二十八日(伊平屋島)、五月六日(久米島)
- 仏バイヨネーズ号【艦長グラビエール】八月二十六日～八月二十七日 ルテュルデュ去▲

一八四九年

- 米〔鯨〕 ナイル号【ハムリン船長】、ナンシー&ドーソン号【ベンドルトン船長】二月二二日(那覇) 英国船の久米島沖座礁を報告
- 英〔商〕 エリザベス&ヘンリ号【クラーク船長】二月二〇日(久米島) 座礁
- 英マリナー号【艦長マシソン大佐】三月二日(久米島)、三月八日～一〇日(那覇) エリザベス&ヘンリ号乗員救助

▽ロバートソン上海副領事来訪△

- 米プレブル号【艦長グリーン中佐】四月九日 西洋夷船(米) 五月二日(久米島)
- 英〔探検〕 ナンシー・ドーソン号【シェドゥン船長】五月二日
- 英パイロット号(艦長ライオンズ中佐) 一二月二〇日 パーマストーン書簡持参

一八五〇年

- 米マーリン号【艦長ウエルチ大佐】八月二日
- 英レイナード号【艦長クレイクロフト中佐】一〇月三日～一〇日 ▼スミス主教来訪△

一八五一年

- 米サラボイド号【艦長ホイットモア】二月三日(摩文仁) ▼ジョン万次郎△
- 英国船 二月一日 異国船 四月三〇日(久米島)
- 独〔商〕 ローズ号【アンドレセン船長】八月一六日～二九日

[凡例]

【】 艦長名

( ) 寄港地

▼ 長期滞在者の到着

▲ 長期滞在者の退去

▽ 短期滞在者の来訪 △

一八五三年

- 英スフィンクス号【艦長シャドウエル中佐】二月六日～一七日（二月二日首里城入城、パーマストーン書簡持参）
- 異国船 三月一日（具志頭村）
- 米〔貨〕ロバート・バウン号【船長ブライソン】四月八日～二二日（石垣）
- 英コンテスト号【艦長スペンサー中佐】五月四日～二二日
- 英リリー号【艦長サンダーソン中佐】五月六日～二二日
- 米サラトガ号【艦長ウォーカー中佐】五月一日～三〇日

一八五三年

- 米船 一月五日（久米島）
- 米東インド艦隊【ペリー提督指揮】五月二六日～六月九日（六月六日首里城入城、六月三日～七月二日、七月二五日～八月二日、  
翌五四年一月二〇日～二月七日、七月一日～一七日（七月二日琉米修好条約）
- サスケハナ号【ビュカナン中佐】五月二六日～六月九日、六月三日～七月二日、七月二五日～八月一日
- ミシシッピ号【艦長リー中佐】五月二六日～八月一日
- サラトガ号【艦長ウォーカー中佐】五月二六日～六月九日、六月三日～七月二日、七月二五日～八月一日
- サプライ号【艦長シンクレア大尉】五月二六日～八月一日
- プリマス号【艦長ケリー中佐】？～一〇月一日
- カプリス号 五月二八日～六月二日
- 英〔商〕レディ・モンタギュー号【船長マックチェイン】七月一四日
- 英〔商〕七月二七日（宮古島） 座礁 ● 米船九月二五日（西表）

一八五四年

- 仏〔鯨〕一月六日（運天）
- 米東インド艦隊【ペリー提督指揮】
- サスケハナ号【ビュカナン中佐】一月二〇日～二月七日

- ミシシッピ号【艦長リー中佐】一月二〇日～二月七日、七月一日～一七日
- サプライ号【艦長シンクレア大尉】一月二〇日～二月八日 ベッテルハイム夫人・子女去▲
- マセドニアン号【艦長アボット大佐】、ヴァンダリア号【艦長ポーブ中佐】一月二〇日～二月一日
- レキシントン号【艦長グラソン大尉】一月二四日～二月一日、五月？日～七月一五日
- サザンプトン号【艦長ボイル大尉】一月二四日～二月一日、七月一日
- ポーハタン号【艦長マックルーニー提督】一月？日～二月七日、七月一日～一七日 ベッテルハイム去▲
- 露オリバーツァ号、露メンシコフ号二月八日～二〇日
- 露パルラダ号【艦長プチャーチン大将】二月一三日～二四日
- 露ヴォストーク号 二月一七日～二〇日
- 英〔商〕ロビーナ号【マクワ船長】二月一四日～二六日 ▼モートン着
- 米〔貨〕ミスチーフ号【トンプソン船長】四月五日～六日
- 米〔貨〕ホワットチア号【ベーカー船長】一〇月一八日～二九日
- 米〔商〕一月三〇日（摩文仁）座礁
- 米ヴィンセンヌ号【艦長ロジャース大佐】一月一六日～二月二三日

## 一八五五年

- 仏〔貨〕リヨン号【ボンネ船長】一月一〇日～一五日 ▼フェウレ・ジラル・メルメ着

\*作成には主に以下の資料を参考にした。書誌は巻末参考図書一覧を参照のこと。

- 『沖縄県史 資料編21』『沖縄県史 資料編22』、『琉球王国評定所文書』、『球陽 原文編』、
- 『大日本維新史料 第一編』、『大日本維新史料 第二編』、『維新史料綱要 巻1』、
- マルナス『日本キリスト教復活史』、大熊良一『異国船琉球来航史の研究』、
- 西里喜行『清末中琉日関係史の研究』、上原兼善『黒船来航と琉球王国』、
- The Victorian Royal Navy(<https://www.pdavis.nl/index.htm#Top>)

1849	1850	1851	1852	1853	1854
道光二十九 1849.1.24-1850.2.11	道光三十 1850.2.12-1851.1.31	咸豐元 1851.2.1-1852.2.19	咸豐二 1852.2.20-1853.2.7	咸豐三 1853.2.8-1854.1.28	咸豐四 1854.1.29-1855.2.16
尚 泰 王					
	尚国棟 (向国柱名護按司朝挙、 道 29.5-?)	尚大謨(摩文仁按司朝健、道 30.9- 咸 3.5.1)		尚宏勲 (向元楷宜野座/金武按司朝昌、咸3.5.2-8)	
馬良才(向如山棚原親方朝矩、道 27.4.7-)					
毛鳳鳴(唱)(向大然安室親方朝昌、道 27.4.7-)					
翁鴻慶(桃原親方良輔、道 27.4.7- 咸元 .12.20)			翁徳裕(向徳裕野村親方朝宜、咸元 12.20-)		
		鄭長烈(鄭元偉湖城親方、道 30.9.3- 咸 3.6)		毛玉麟 (毛有増国吉 / 垣花親方、咸 3.6.14-)	
徐廣縉(道 28.6.4- 咸 2.12.18) 咸 2.4.6 赴桂会剿、咸 2.7.24 赴湘会剿、咸 2.9.2 署湖督				葉名琛(咸 2.12.24-7.12.13) 咸 2.7.24 赴湘会剿粵撫葉名琛署	
	裕泰(道 30.11.18- 咸元 5.19) 咸元 3.22 兼署閩撫	季芝昌(咸元 5.19-2.10.15)		吳文鎔[未任] (咸 2.10.15-3.8.7) 閩撫王懿徳兼署、 咸 2.6.2 福将有鳳兼署	王懿徳 (咸 4.1.19-9.4.22) 慧成(咸 3.8.7-12.4)
葉名琛(道 28.6.4- 咸 2.12.24) 咸 2.3.24 兼署陸提、7.24 署廣督				柏貴(咸 2.12.24-9.4.19) 咸 2.7.24 柏貴豫撫署	
道 27.6.29、道 30.11.18 兼署閩督		閩督 裕泰 兼署	王懿徳(咸元 5.23- 咸 4.1.19) 季芝昌兼署(咸元 5.19-9.13)、布政慶端(9.13-)		呂佺孫 (咸 4.1.19- 咸 7.1)
慶端(道 29.9.15- 咸 7.1) 咸元 9.13 護撫					
ボナム (-1854.4)					ポウリング (-1859.5)
ポウリング (1849.4-1854.8)					オールコック (1854.8- 1858.12)
ギンゲル(1850-1858 福州領事官通訳、代理領事、1858 年廈門領事、60 年漢口領事) メドハースト(1854.11-1858.12)					
オールコック(1846.10-1854.5)					ロバートソン (1854.5-1858.12)

【附録】職官年表

西暦	1844	1845	1846	1847	1848
中国暦	道光二十四 1844.2.18-1845.2.6	道光二十五 1845.2.7-1846.1.26	道光二十六 1846.1.27-1847.2.14	道光二十七 1847.2.15-1848.2.4	道光二十八 1848.2.5-1849.1.23
琉球	国王	尚育王			
	総理官	尚廷柱(古謝按司→馬克仁国頭按司正秀、道 26.5.17-29.5)			
	布政官 (礼儀方)	向永保(毛達徳座喜味親方盛普、道 24.3.20-27.4.7)			
	布政官 (刑法構)			馬良才 (向如山棚原親方朝矩、道 26.7-27.4.7)	
	布政官 (米穀方)			毛鳳鳴(唱) (向大休安室親方朝昌、道 26.7-27.4.7)	
	那覇地方官	鄭良弼真栄里親方(道 24.3.11-30.1.12、道 25.5.7 鄭元觀古波蔵親雲上)			
清	兩廣総督	耆英(道 24.2.1-28.6.4)道 26.12.2 兼署粵撫 祁瑱(道 21.2.6-24.2.1)道 22.12.25 兼署粵撫、道 23.12.19 病暇			27.12.29 召京 兼署徐廣 縉兼署
	閩浙総督	劉韻珂(道 23.5.26-30.11.18)道 27.6.29 病暇閩撫徐繼畬兼署			
	廣東巡撫	程喬采(道 22.12.25 粵撫祁瑱兼署 -25.1.8)道 23.12.19 護廣督	黄恩彤(道 25.1.8-26.12.2)道 26.12.2 廣督耆英兼署	徐廣縉(道 26.12.2-道 28.6.4)道 27.12.29 署廣督、布政葉名琛護	
	福建巡撫	劉鴻翱(道 20.12.23-25.2.23)	鄭祖琛(道 25.8.12-26.12.25) 惠吉[未任]道 25.2.23-4.14 吳其濬(-8.12)	徐繼畬(道 26.12.25- 咸元 .3.22 召京)	
	福建市政使	徐繼畬(道 23.4.2-26.10.14)道 25.2.23 署撫		陳慶偕(道 26.10.14-29.9.15)	
英国	香港総督	ポットインジャー(-1844.5)	デイヴィス(-1848.3)		
	駐広州領事	レイ(1843.7-12)	マクレガー(1843.12-1849.4)		
	駐福州領事	レイ(1844.7-1845.3)	オールコック(1845.3-1846.9)	ジャクソン(1846.9-1854.11, 1850 年帰国)	
	駐上海領事	バルフォア(1843.11-1846.10)			

作成には主に以下の資料を参考にした。書誌は参考図書一覧を参照のこと。

『沖縄県史 資料編』21・22 / 『琉球王国評定所文書』 / 『球陽 原文編』 / 『清代職官年表』 / 『清季中外使領年表』 / 田名真之「王府の異国船迎接待体制——総理官を中心に」